

Vol.8

Best Teaching Award 2023

～学生が選ぶベスト・ティーチング賞～



学生による学生のための授業パンフレット

制作：学生FDスタッフ



「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」企画概要



➤ 目的

学生から見て良いと思われる教育方法を実践する教員を表彰し、その教育方法を全学的に共有することで、駒澤大学全体の教育の質を向上させる。

➤ 投票受付期間

2023年11月10日（金）～12月1日（金）

➤ 投票できる者

駒澤大学の全学生

➤ 投票対象科目

2023年度の全開講科目

※殿堂入り教員の担当科目を除く

➤ 投票方法

専用Web投票フォームから投票。

今年度履修している科目に限り1人1科目投票可能。

➤ 投票総数

投票数2,479票(うち有効票数2,443票)



集計方法



➤ 集計方法

① 学生が選ぶベスト・ティーチング賞

各科目の得票数を単純合計

※同一曜日時限で、前後期に開講している科目は合算とした。

※科目a/bについては合算せず、別集計とした。

※コメントに誹謗中傷が含まれる投票は無効票とした。

② プラスワン賞

学生が選ぶベスト・ティーチング賞及び殿堂入りを除いた、各学部の得票数上位1科目

③ 殿堂入り

殿堂入りは、過去に3回、ベスト・ティーチング賞を受賞した科目の担当教員を対象として表彰する制度である。

過去数年のベスト・ティーチング賞で、同様の科目が受賞している状態を打破するために、2021年度から導入された。

学生が選ぶベスト・ティーチング賞
受賞科目インタビュー



What is the best for you!

専門教育科目

科目名	教員名	ページ
刑法総論	矢田 陽一 先生	5
キャリア・デザインb	川村 稔 先生	8
労働法	篠原 信貴 先生	11

全学共通科目

科目名	教員名	ページ
特別活動論・総合的な学習の時間の指導法	鴨井 雅芳 先生	14
法学の基礎／日本国憲法	金澤 誠 先生	17
ドイツ語 I Ab	吉中 俊貴 先生	20
心理学の基礎	加藤 博己 先生	23
現代社会と宗教 (1)	大場 あや 先生	26

2023年度
プラスワン賞・殿堂入り
受賞コメント特集



●プラスワン賞

受賞科目	担当教員	ページ
仏教と人間	村上 明也 先生 (仏教学部)	29
介護概論	金 美辰 先生 (文学部)	29
経済理論・資本の原理a	明石 英人 先生 (経済学部)	30
民法総則	熊谷 芝青 先生 (法学部)	30
現代マネジメント I	小野瀬 拓 先生 (経営学部)	31
医用化学	岡田 朋子 先生 (医療健康科学部)	31
グローバル戦略論	村田 大学 先生 (GMS学部)	32
英語 I Ab	相馬 美明 先生 (総合教育研究部)	32

●殿堂入り

受賞科目	担当教員	ページ
キャリア・デザインb	川村 稔 先生 (経済学部)	33
法学の基礎／日本国憲法	金澤 誠 先生 (法学部)	33

専門教育科目 受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「刑法総論」

法学部
矢田 陽一 先生



Q.受賞されたご感想を教えてください。

私は非常勤で駒澤大学に来ているのですが、まさか頂けるとは思っていませんでしたので連絡をもらったとき非常に驚きました。

受講生の方たちから直々に選んでもらえて大変光栄で嬉しいです。

Q.先生が授業を行うモチベーションを維持する方法はありますか？

1人でも多くの受講生が刑法を学んでいて「楽しい・興味をもった」と感じてくれたらよいなと思って毎回の講義に臨んでいます。学生の表情を見ながら刑法以外の雑談も挟みつつ、気楽に話しかけてもらえるようにしているところが私のモチベーション維持になっています。

Q.授業の雰囲気づくりや授業内で工夫していることはありますか？

授業前に10分程度法律に関係する事件を取り上げ、刑法的な観点から解説をして、刑法学に親近感を抱いてもらうようにしています。刑法総論は、法律の勉強を始めたばかりの学生が多いので、レジユメの分かりやすさは特に意識しています。レジユメを見たとき情報が羅列しているととっつきにくいいためQ&A形式にして、まず、問題を示し、答えで刑法での考え方を書きその後細かい説明をしています。学説を紹介するだけで終わらず、事例に当てはめたときどういう筋道でどんな結論になるのかをしっかりと示しています。法律初学者はいきなり学説と答えがあってもその間が分からず、法律の勉強は難しいと感じる方が多いので、極力答えに至る筋道を意識的に説明するようにしていました。授業で私が話しているなかで重要なところを学生にメモしてもらったり、全部板書するなど色々試した結果、穴埋め方式のレジユメが効果的であったため、今の授業スタイルになっています。

Q.刑法を特に学ぼうと思ったきっかけはありますか？

司法試験を目指して法学部に入ったのですが、短い時間で考えて解くより、1つの議題をじっくり考える方が自分に合っており、大学2年で出会った刑法の先生がきっかけで刑法は面白いのではないかと思い、大学院に進み刑法の道を志しました。

Q.今後授業を履修される学生へメッセージをお願いします。

「法律」は堅いイメージがありますが、本を読んだり勉強を進めていくとあるときから分かるようになり、そこに至るまでが大変ですが、法律の面白さがわかってくると思います。

自身は契約期限が本年度をもって終了しますが、これからもぜひ楽しんで刑法だけでなく色々な法を学んでいただければ嬉しいです。

◆受講生からの投票コメント

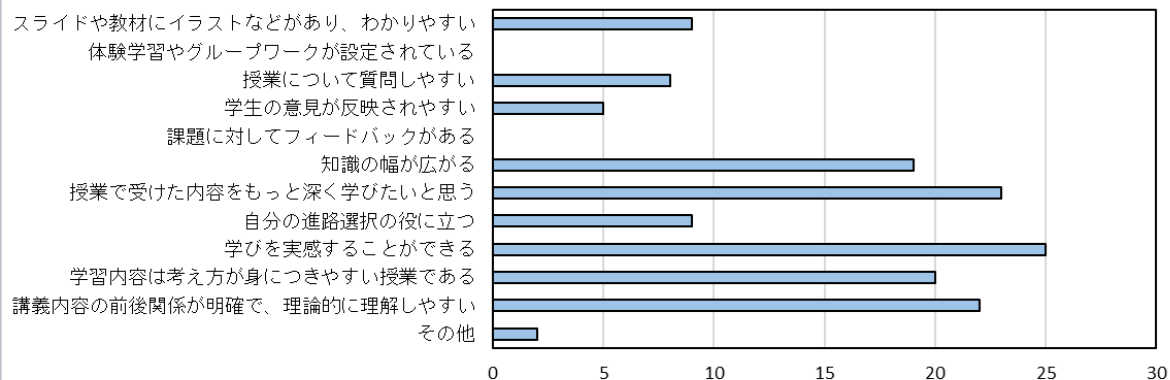
・授業を始める前にいつも、最近起こった事件やニュースをあげて刑法に当てはめて詳しく説明してくださるから刑法にもっと興味を持てたり、改めて考えてみたり、刑法を身近にかんじることができ、とても為になります。

・ひとつの条文を学んだ後で、事例を出してくれるので理解がとてもスムーズになります。プリントを配布してくれているので、どこを学べばいいのかがはっきりしていてとても良いなと思いました。

・穴埋めのレジュメが非常にまとまっていてわかりやすい

◆投票の内訳

設問別の投票数



◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

法律初学者に向けて、先生が授業で親しみやすさとわかりやすさを大切にしていると感じました。先生の授業で法律を学ぶことの楽しさや面白さが学生に伝わっていると思います。2年間ありがとうございました。

(担当:小林・宮地)

専門教育科目 受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。

BTA



「キャリア・デザインb」

経済学部
川村 稔 先生

Q. 受賞されたご感想を教えてください。

3年連続で受賞できたことに感謝したいと思います。今回で殿堂入りとのことややっ肩の荷がおりました。

Q. 授業を行うモチベーション維持の方法は何かありますか？

例えば運動部に所属している学生が試合での出来事を私に話しに来てくれたり、授業開始前に履修してくれている学生から、それぞれの分野で活躍したことを聞くことがおもしろかったです。逆に悩んでいる学生から話を聞いたりすることももちろん、色々な学生と出会って交流することがやっいてとても楽しかったんです。それが1番で、他にないです。やっぱり駒澤が好きなんですよ、それだけです。

Q. 駒澤大学のどういうところが好きですか？

なんとなくのんびり、ゆったりした雰囲気や風土、あと眺めがとても好きです。大学を卒業したときに、駒澤大学にいつか戻ると心に決めていました。

Q. 授業の雰囲気づくりや授業内で工夫していることはありますか？

教場に早めに入り、入り口で一人一人に挨拶するようにしています。30年間採用コンサルや面接評価に関わる仕事を今もしているのですが、その時に面接を受けられる方が挨拶を普段からしているかどうかわかります。なので、担当している1年生にはできるだけ挨拶に力を入れています。また、まだ新しい環境に馴染めていない子もいる1年生にはこちらから声をかけたりしています。他にも授業内では新聞記事などを題材に、さまざまなアンケート調査を行いながら、学生の声を反映するようにしています。後は、雇用を中心とした個人的な相談にも答えるようにしています。

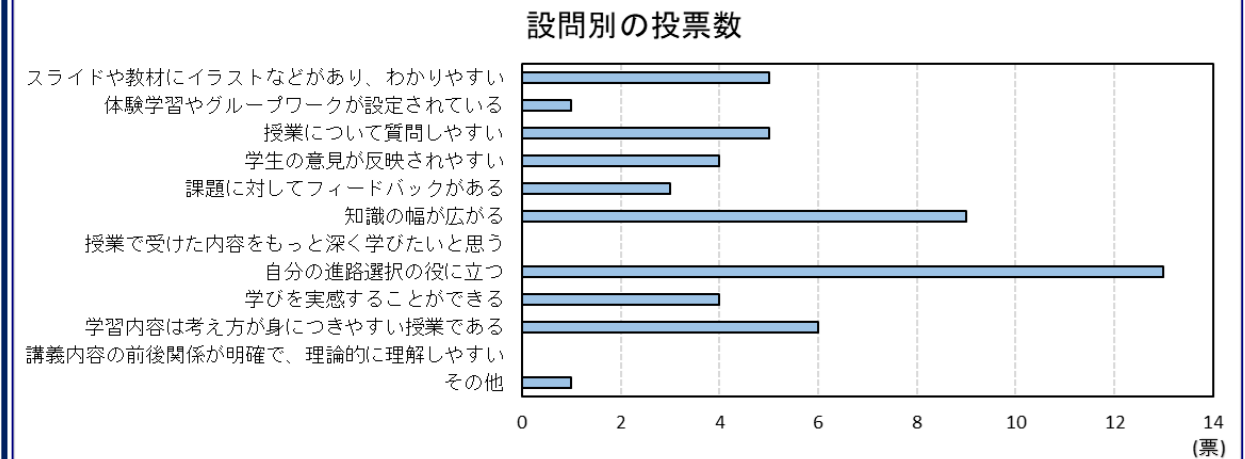
Q. 今後授業を履修される学生へメッセージをお願いします。

学生の気持ちに添った授業を心掛けています。安心してご参加ください。学生時代の姿が未来（就職から社会人へ）に繋がる場面（採用選考）で活動している立場（採用面接官指導者）の経験を活かし、学生に役立つ授業を行います。

◆受講生からの投票コメント

- ・就職に有利な情報を多くもらえます
- ・様々な職業の業務内容を学べたり、実際に社会で働いている方を招いてお話を聞くことができたので参考になった。

◆投票の内訳



◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

私たちがちょうど就職活動中とのこともあり先生のお話を聞いて履修した学生がとても羨ましく思いました。他にない学生に対しての寄り添い方や駒澤大学への思いを聞き、先生によって授業の仕方だけでなく、本当に様々な気持ちをもって、学生に向き合っているのだと感じられました。また、先生のお話を聞き他の大学と比較して駒澤大学という場所そのものへの意識も変わったように思います。

(担当：小林・宮地)

専門教育科目 受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「労働法」

法学部
篠原 信貴 先生



Q. 受賞されたご感想を教えてください。

光栄に思います。ありがとうございました。

Q. 授業をする上で気をつけていることはありますか？

授業では、具体例や言い換えを使って分かりやすく説明をするように心がけています。反対に、WebClassに載せているレジュメには、テストで使えるような改まった言葉を使うようにしています。また、レジュメを見ることで、休んでしまった人も追いつくことが出来るようにしています。

せっかく大学に来て授業を受けるなら使える知識を身に付けてほしいと思っているので、説明の仕方には特に気を配っています。法律用語や判決では言い方を変えられないため、丸めて説明しすぎると使える知識にならないけれど、常に改まった言葉では頭に入りにくい。そのため言葉を崩すところと崩さないところのメリハリを意識して授業をしています。

いつか自分が使用者の立場になったときに労働法の知識を使うことになります。その際授業で学んだことを活かしてほしいです。

Q.モチベーション維持の方法は何かありますか？

特別何かをしている訳ではありませんが、学生に労働法について理解してもらう仕事であることを意識しています。労働法は刑法や民法に関連することもあるため、全てを細かく解説すると時間がなくなってしまいます。そこで授業をする際は何についてどれくらい触れるかを考えています。これが私にとってのモチベーション維持の方法になっているのではないのでしょうか。

Q.授業の雰囲気づくりや授業内で工夫していることはありますか？

今年度の労働法の授業は1限と7限の眠気に襲われやすい時間にあり、私が眠そうにしていると眠気を誘う授業になりかねないため、なるべく眠い顔を見せないようにしました。

Q.授業を行う上で苦労したことはありますか？

三つあります。一つ目は労働法は民法を理解した前提で話が進むので、学生さんがどれくらい理解しているのかということです。二つ目は労働法は範囲が広いので、どれくらいまで教えればいいのか加減が難しかったことです。三つ目はレジュメを崩しすぎないことです。労働法などの法律系は言葉が難しいので、理解させるために簡単な言葉を使いたいのですが、崩しすぎても意味合いが変わってしまうので頭を悩ませました。

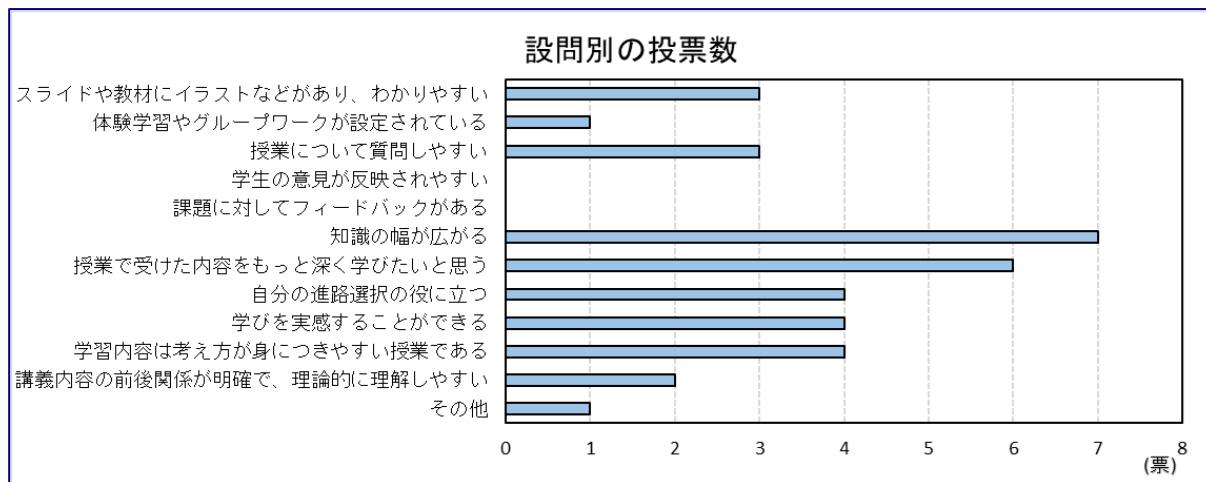
Q.今後授業を履修される方へメッセージをお願いします。

先程述べたように労働法の学習範囲はある程度広いので、予習・復習はもちろん、講義範囲外の自習も必要になる点には留意して履修してください。

◆受講生からの投票コメント

- ・授業のやる気がある。
授業が予備校の様でわかりやすい。

◆投票の内訳



◆インタビュアー（学生FDスタッフ）のコメント

難しい単語や表現が多い労働法を、なんとか学生の皆さんに理解してもらおうと工夫する学生想いの先生だと感じました。話していてとても面白い先生で、授業でもクスッと笑える楽しい時間があるのだらうと思いました。ぜひ労働法に興味のある方は受講してみてください。

(担当：木田・寺島)

全学共通科目 受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「特別活動論・
総合的な学習の時間の指導法」

総合教育研究部
鴨井 雅芳 先生

Q.受賞されたご感想を教えてください。

昨年もいただいたのですが、学生から私の授業を認めていただいたのがとてもうれしいです。私自身中学校で数学の教師をしていましたが、教科とは違う道徳を研究していました。それを今このようにして大学で教鞭をとり、私のやってきたことを学生の皆さんに認められたという点が私の一番の感動であり感想です。

Q.授業を行う上で意識されていたことはありますか？

この授業では必ずグループワークを取り入れています。グループワーク内で出すテーマは必ず答えが一つに決まるものではなく、それぞれの考えが共有できる形にしています。例えば「いじめはどうしたらなくなるのだろうか」という問題は「こうすればなくなる」というものではないため、互いに交流できる授業になるように意識しています。

Q.授業を行うモチベーションを維持する方法はありますか？

私は楽しい授業が大切だと思っています。あの学生に会える！という思いがモチベーションに繋がっています。学生との信頼関係を作ること为目标に授業をしています。一方的な授業ではなく、学生が心を開き、学生から学ぶことを意識しています。学生と仲良くなり、学生と教師と一緒に授業を作っている実感が、私にとってのモチベーションを維持するものです。

Q. 授業の雰囲気づくりや工夫していることはありますか。

信頼関係を築くために一番大切にしているのは、学生の思いや考えは受動的に受け止めるようにしています。認めてあげることが大切だと思っています。

Q.授業作りで苦労したことはありますか？

講義の後半に行うグループワークのテーマ設定は簡単そうで難しく、多様な考えが出てくるテーマを選定するのに苦心しました。またリアクションペーパーでの反応から学ぶこともあり、講義に活かしたりしました。

Q.授業の構成を教えてください。

授業の前半は講義をし、後半は4人くらいで学生同士のグループワークをしています。それぞれの意見があるので、結論は求めません。最後にリアクションペーパーを書いてもらい、次の授業に活かしています。

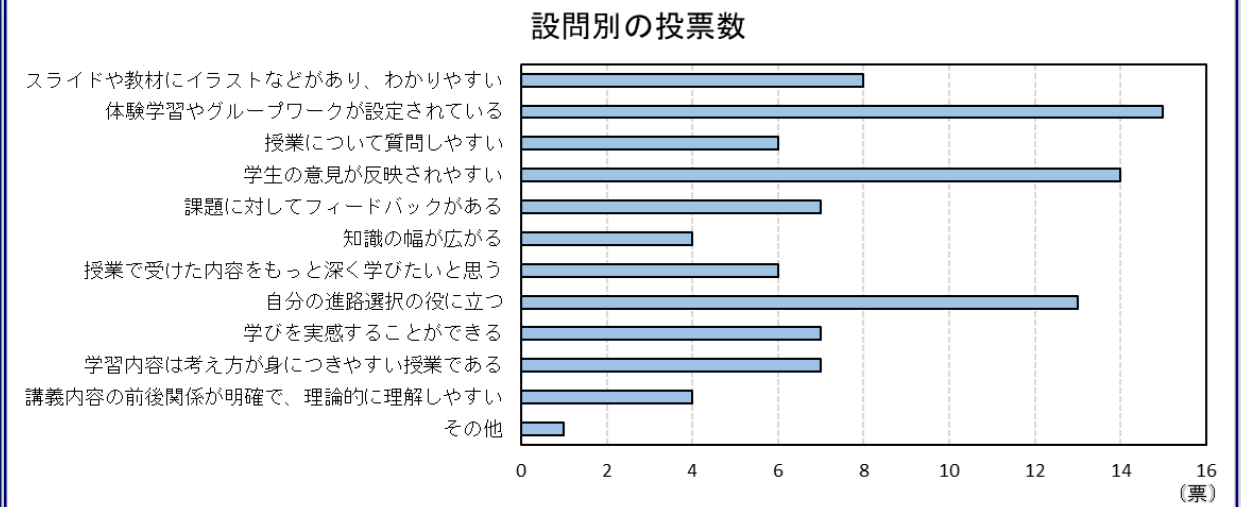
Q.今後授業を履修される学生へメッセージをお願いします。

教育に興味のある方大歓迎です。教育で何が大切か一緒に考えましょう。

◆受講生からの投票コメント

- ・授業の雰囲気がとても良い。
- ・受けていて楽しい授業。程よい長さの経験談が挿入されているため、退屈しない。
- ・先生の鑑。教え方や振る舞いが参考になる。先生も学ぶ姿を忘れていない。

◆投票の内訳



◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

実際中学校の教師として勤務されていた経験や、その感動がひしひしと伝わってきました。学生のことを第一に考え信頼関係を非常に大切にしている先生であり、将来教職者を目指している方はぜひ受講してみてください。

(担当：寺島・大友・田浦)

全学共通科目 受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「法学の基礎」
「日本国憲法」

法学部
金澤 誠 先生

Q.受賞されたご感想を教えてください。

学生FDスタッフがPRしたことにより受講生が増え、色々な学生に会えてよかったです。おかげさまで盛況に授業ができてうれしかったです。ありがとうございました。

Q.授業を行う上で意識されていたことはありますか？

大人数でも学生が参加できることを目標としています。学生の疑問・質問・意見などを「すぐに」取り入れることを意識しています。具体的な方法としてはWebClassのほかに、GoogleFormを使ったりしています。

Q.授業の雰囲気づくりや授業内で工夫していることはありますか？

関係のないネタや趣味に関することでもこちらの方から近づくようにしています。少しでも授業と繋がっていたら、「その質問面白いね」などと普段から話しやすい環境を作るようにしています。また毎回の講義で出席カードの感想にコメントをつけているので、学生との距離は縮めるようにしています。



Q.モチベーション維持の方法は何かありますか？

私にとってこの授業は、他学部の学生と唯一お会い出来る機会です。多様な背景を持つ学生との対話が楽しいことがモチベーションになります。

Q.授業方法について教えてください。

導入部分として始めの15分ぐらいはテーマに沿ったドラえもんやコナンなどのアニメを見せています。ここではWebClassのタイムライン機能(YouTubeのチャットのようなもの)を用いてスクリーンにアニメの映像と並べて示しており、自由に意見ができる環境を作っています。その後は授業をし、最後にGoogleFormでの確認テストを行っております。

他にも模擬裁判の際にもタイムラインを扱っています。また半年に1回、受講生300人で行うクイズ大会を行ったりもしています。さらに教場だけではなく希望者を募って、少年院や刑務所に課外授業として見学を行ったりもしました。

Q.最新の事件の出来事を扱ったりしているのでしょうか。

最新の事例の模擬裁判を演じたりして、最新の論点には触れるようにしています。アニメのみだと法学と現代社会の認識が抜けてしまうので特に意識しています。実際にある裁判の判決が出る前に模擬裁判を扱って、予想してもらったりもしました。良いタイミングで事例がないと出来ませんが、今年は「性同一障害によるトイレ事件」について取り扱いました。

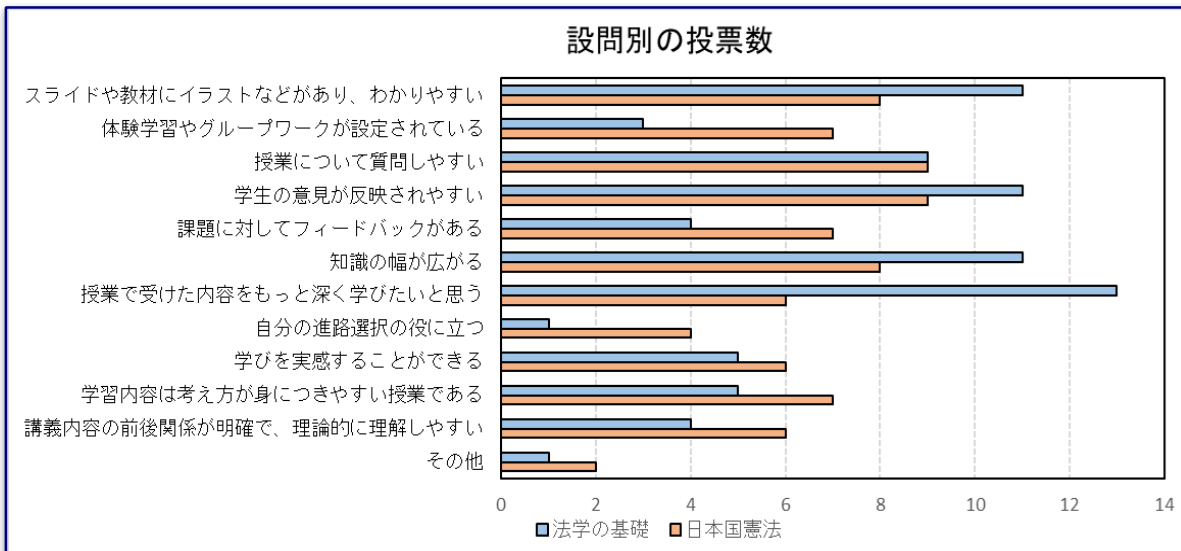
Q.今後授業を履修される方へメッセージをお願いします。

難しいテーマですが、実際に刑務所見学したりと楽しみながら勉強できるようにしますので、ぜひ受講してもらいたと思います。受講している学生は学部や学年はバラバラなので、皆さんの多様なアイデアと一緒に授業を作っていきましょう。来年も元気な学生が来てくれて、助けてくれるとありがたいです！

◆受講生からの投票コメント

- ・何より授業が楽しい！レポートも苦じゃなかったです！
- ・身近なアニメやドラマの名シーンを引用して、生徒が興味を持つ導入をしてくれる。意見をたくさん採用してくれて、楽しかった。(法学の基礎)
- ・授業に参加したくなる工夫(クイズ大会、タイムライン)がされていて本当に楽しい、興味が湧く。また取りたいと思う。(日本国憲法)

◆投票の内訳



◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

受講生が300名と多い中、アニメを取り入れて事例を出したり、クイズ大会を開催したりと法学について興味をもってもらうことや講義に参加してもらうように工夫していると感じました。またリアクションペーパーにコメントを返していることだったので、学生自身も考えを評価してもらうことで、より学びたい気持ちを高める環境を作っていると思いました。

(担当：大友・田浦)

全学共通科目 受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「ドイツ語 I A b」

総合教育研究部
吉中 俊貴 先生

Q.受賞された感想を教えてください。

とにかく嬉しいです。私は山口県出身で、萩市のちかくで育ちました。いまでも松下村塾が理想です。というわけで、学生に評価してもらえるのは、何よりも嬉しいことです。はやく世田谷の松陰神社にお礼を言いに行きたいです！

Q.ドイツ語を勉強しようと思ったきっかけは何ですか？

大学でドイツ文学を専攻してその良さを知ったことがきっかけです。次の人生も続けたいくらい素敵な学問に出会えたと思っています。

Q.ドイツ語の良さは何ですか？

ドイツ語だと範囲が広がってしまうのでドイツ文学になりますが、人間の暗い気持ちやそれへの対処の仕方がうまく描かれていることだと思います。明るくはならないけれど読み終わったときのカタルシスが魅力です。

Q.授業を行うモチベーションを維持する方法はありますか？

とくに方法とかはありません。授業というのはある意味で、受ける人の「時間を奪う」ことであり、学生には来てよかったと思ってほしいです。だから、はずかしいことだけはできない。そう考えると、いつも自然にやる気スイッチが入ります。

Q.授業の雰囲気づくりや授業内で工夫していることはありますか？

いろいろ努力はしてみたのですが、自分にはユーモアの才能ゼロと判明し絶望した結果、もうそこは諦めてとにかく熱をこめてムキになってしゃべる、ということに特化したところ、笑いはおきないけど、学生たちはおもしろがってはくれているようです・・・知りませんが。

熱意に重点を置いたきっかけは自分が学生だったときに一生懸命話してくれた先生に心を打たれた経験です。いつかの私のように学生に熱意が伝わっていればと思います。

Q.授業の形式はどのようなものですか？

教科書と黒板を使って私が学生に話す形式です。宿題を出さずに1時間30分の授業に全てを詰め込んでいるため、緊張感はあると思いますが集中してもらえているようです。学生に達成感を味わってほしいため、教科書は1冊を1年かけて全てを終わらせます。たとえ小さなことでもやり遂げた達成感は死ぬまで残りますし、その経験は何かに挑戦するとき背中を押してくれます。

Q.今後授業を履修される方へメッセージをお願いします。

いっしょに勉強しましょう。そして問題を共有しよう。問題の解決はできないかもしれないけど、でも、ともに「考える」仲間を増やすことなら、できるかもしれません。

ドイツ語の授業は何年生からでも始められる授業です。取ってよかったと思える授業にしますので皆さんの履修をお待ちしています。

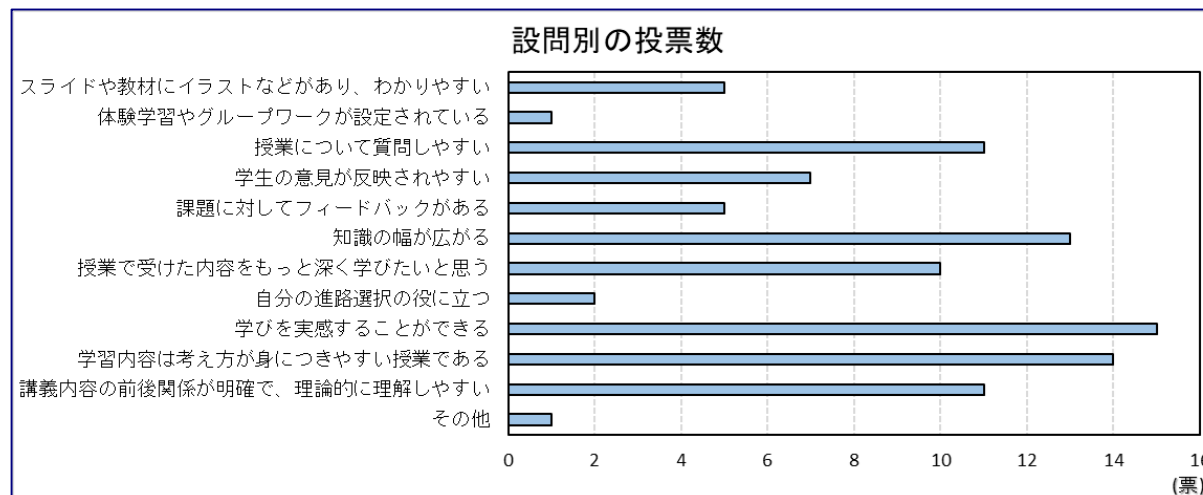
◆受講生からの投票コメント

・大学入学前後で、講義や学び方について何が大きく変わるのか、大学とは何を学ぶ場所かを、ドイツ語・第二外国語の履修の範囲に収まらずに教えてくださったのが、吉中先生だと思っています。毎回の授業が充実していて、楽しいと思えるようなカリキュラムであったため、こちらに投票します。

・授業内容がわかりやすく、質問にも適当な解説をつけてくれる。また、集中できる環境づくりを徹底してくれており、授業内理解の効率が良い。

・大学の授業の中で1番ここでしか学べないことを学んでいるなと思える授業です。何よりも生徒たちに知識を教えるということに対して熱く向き合ってくれるのでこちら側も毎回知識を取り入れようと積極的に授業を受講できます。

◆投票の内訳



◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

現状に満足せずより良い授業にしようとする姿勢と熱意を感じました。学部学年関係なしに授業を取っていいそうなので来年度はぜひ吉中先生の授業を受けてみたいです。

(担当：木田・北上・飯島)

全学共通科目 受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「心理学の基礎」

文学部
加藤 博己 先生

Q.受賞されたご感想を教えてください。

日頃の教育活動に対して一定の評価をして頂けること、また、多くの受講生が「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」に推して頂いたことを大変うれしく思います。授業に対する大きな励みとなります。

Q.先生が授業を行うモチベーションを維持する方法はありますか？

毎週授業終了時に学生が提出するアクションペーパーのコメントを読むと、授業に対する学生の理解度や、疑問を持ちながら授業を受けてくれていることなどがわかり、次週の授業で学生からの素敵なコメントを紹介したり、さらに詳細に授業内容を掘り下げて伝えたりしたいなと思います。

Q.授業の雰囲気づくりや授業内で工夫していることはありますか？

1クラス240人と受講生が多いので、座席がぎゅうぎゅうである点は私には改善できそうにないので、なるべく学生が眠くなったり、スマホで遊んだりしないように、授業中に質問を投げかけたり、リアクションペーパーを書くことで学生が主体的に学べるようにしたり、授業で取ったノートを自分で次週に見返せるようにしたりしています。授業の最初の10分間で先週学んだことを書き出すワークを行い、最後の10分間で今日の授業のコメントを書くリアクションペーパーを提出してもらっています。

Q.全員のリアクションペーパーを読むのは大変ではないでしょうか？

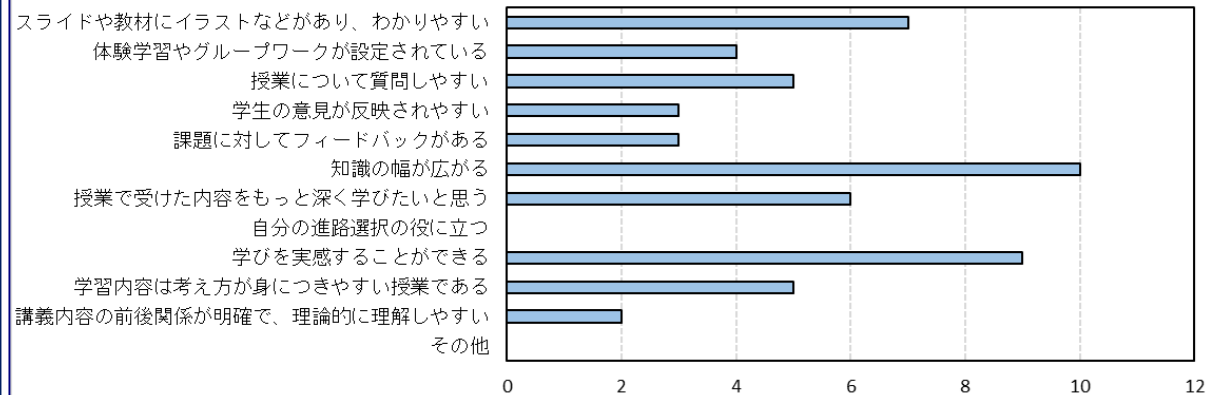
とても大変です。土曜日に授業があるのですが、日曜日に10時間かけて読んでいます。大変なら回数を減らしては？との意見もありますが、学生からリアクションペーパーのお陰で力がついたとの声が多くあり、悩んでいるところでもあります。

Q.今後授業を履修される方へメッセージをお願いします。

シラバスを読んで、この授業の目指すものは何か、どんなものが得られるのかなどを知って一緒に学べて行けたらと思います。心理学の正しい知識をお伝えしたいのはもちろんのことですが、受験勉強やテスト勉強のように評価をされるために授業を受けるのではなく、新しいことを知ったり、その知識を鵜呑みにするのではなく、批判的に考え精査したりしながら、学ぶことの喜びを味わってもらえたら嬉しいです。

◆投票の内訳

設問別の投票数



◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

2度目の受賞を経た加藤先生ご自身が、受講生が自分のどの部分を評価したのかを知りたいと話されていたことが印象的でした。受講生の細かい意見にも耳を傾け、時に先生側の苦勞を伴う方法でも受講生にとってより良い学習方法を常に追求し、採用されていました。先生の今行われている授業は、裏でたくさん試行錯誤を重ねていく中で作られているのだと気づかれます。受講生の声が先生のもとに届く機会の大切さを改めて感じました。

(担当：小林・宮地)

全学共通科目 受賞科目インタビュー

BTA

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「現代社会と宗教(1)」

総合教育研究部
大場 あや 先生

Q.受賞されたご感想を教えてください。

大変嬉しいです！連絡をいただくまで、このような賞があることを知らなかったもので、とても驚きましたし、駒澤大学がこうした取り組みをされていることに感銘を受けました。学生スタッフのみなさんをはじめ運営の方々、投票して下さった履修生のみなさんに感謝申し上げます。

Q 授業の雰囲気づくりや授業内で工夫していることはありますか？

授業づくりという点では、①写真や映像（なるべく自ら撮影してきたもの）を多く用いること、②例え話などを交えながらなるべくかみ砕き、メリハリをつけた説明を心がけています。

自分が撮った写真を使う理由としては、現実的な話としては著作権がないということと、自分が実際見聞きしているので自分の言葉で説明しやすい、というのが1番大きいです。

日本のことだけだと、私たちにとって当たり前なことはなかなか気づくことができないので、あえて海外に行ってフィールドワークを行うこともあります。中国や台湾、今年だとマレーシア・モロッコに行きました。写真や映像を見てみると、日本の方がむしろ珍しいことをしていたんだなと気づくこともあり、その違いを自分の言葉で伝えたいと思っています。

Q.海外のフィールドワークに行くきっかけやその場所に行く目的はなんですか？

1番は日本がメインではあるのですが、今自分の研究として行っているのは中国や台湾です。決めた理由は、昔の日本は政府がこういう風に変えなさいとか、火葬に変えなさいという風に葬儀のやり方を指導していました。でも今の日本は昔ほどその影響がないのですが、中国や台湾は今でも結構政府の指導が強いので、日本と比較したいと思い選びました。

また、中国や台湾は政府の指導によって葬儀がどんどん変わってきているので、それも理由のひとつです。

Q.授業の中で意識していることや重視していることはありますか？

普段のリアクションペーパーやグループワーク、期末試験では、「あなたはどうか」ということを重視して問いを投げかけるようにしています。私はあくまで題材と考えるための視点を提供する役目であることを常に意識し、<様々な立場の意見を踏まえ、自分なりの考え・意見を自分の言葉で組み立てる>ことを最も重視するようにしています。

Q.今後授業を履修される方へメッセージをお願いします。

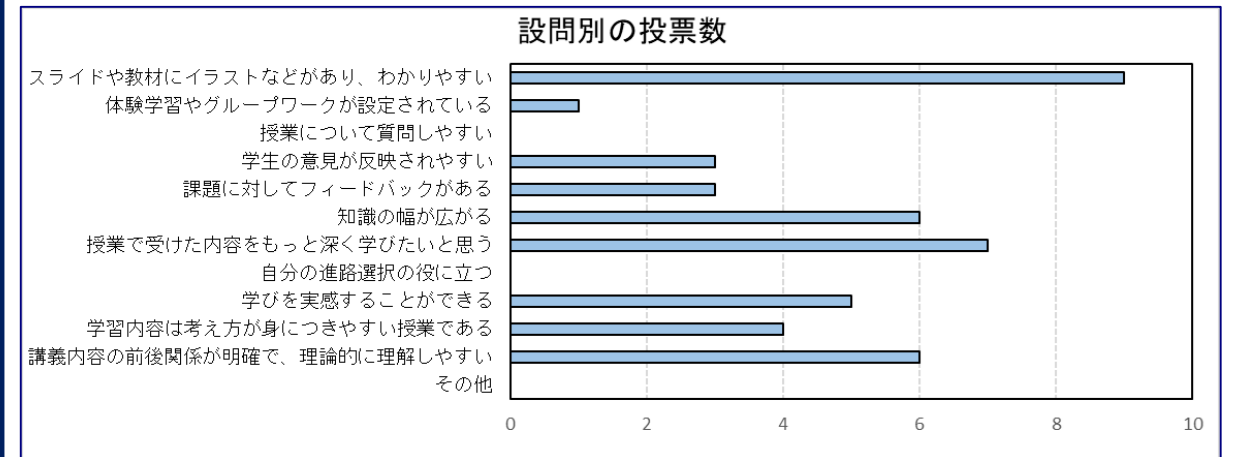
実は仕事の都合により、駒澤大学で授業を担当するのは今年度のみです。複数の大学に関わっていますが、本学の学生さんは、まじめで積極的かつ自分の考えを豊かに表現できる方が多いと感じています。授業をしていて毎回手ごたえがあるので、とても楽しかったですし、みなさんの毎回のコメントにたくさん学ばせていただきました。寂しくなりますが、また機会があれば、駒澤大学の学生さんと関わることができればと思っています。

また、今年度履修していただいた学生さんにもし見てもらえていれば、お葬式の細かい部分の知識よりも、この授業を履修して新鮮だったな、勉強になったなと思うことを、どこか頭の片隅に置いておいてもらい、今後の社会人生活で、例えば自分が結婚式やお葬式を迎える時に、駒大の先生の授業でこれ学んだなと、ふと思い出してもらえるきっかけになれば嬉しいなと思います。

◆受講生からの投票コメント

- ・ 様々な視点から祭礼を紹介していたのが良かったです。
- ・ 学生目線で興味を引く授業内容だから。

◆投票の内訳



◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

講義では国内外を比較するため写真を使って分かりやすく説明されるだけでなく、グループワークなどを通して新しい発見と視点を提供したいという方針が素敵だと思いました。試験は即席の論理的な文章構成が苦手な人のことを考えた試験の作成と最後まで書き遂げることで達成感を味わってほしいという話から、とても学生思いな先生だと感じました。限られた時間を工夫し、先生自身が伝えたいことを詰め込みつつ、学生のことを考えた授業を行っていたからこそ、学生の支持を得られているのだと思いました。

(担当：北上・飯島)

◆プラスワン賞の先生方の受賞コメント◆

【先生のお名前（学部学科）】担当科目：

①受賞の感想 ②来年度への意気込み ③学生さんへのメッセージ

【村上 明也 先生（仏教学部）】担当科目：仏教と人間

①本学の根幹をなす「仏教」について、学生さんに少しでも興味関心を持っていただけるよう、平易な言葉で講義するよう努めてきました。大変嬉しく思います。

②慢心することなく、引き続き「仏教」が持つ魅力を伝えていきたいです。

③覚えきれぬ言葉より
抱えきれぬ教科書より
知りたいと思うこと
謎を解くのだ夜明けまで（星野源「くせのうた」）

【金 美辰 先生（文学部）】担当科目：介護概論

①いつも真面目に授業を受けている学生の皆さまの存在があるから、楽しく授業をやっています。この場をお借りして、感謝申し上げます。

②わかりやすい授業ができるように、学生の皆さまの理解度を確認しながら、双方向的授業を進めていきたいと思っています。

③福祉現場の現状を踏まえた授業ができるように努めていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【明石 英人 先生（経済学部）】

担当科目：経済理論・資本の原理a

①1年生の受講者が多い必修科目なので、授業に興味を持っていただけでよかったです。

②説明の仕方や配布資料について、さらに工夫していきたいと思えます。

③機材の使用ミスなどいろいろありましたが、教場の雰囲気がとても良く、楽しく授業を進めることができました。1年間ありがとうございました。

【熊谷 芝青 先生（法学部）】担当科目：民法総則

①過分な評価をいただきありがとうございます。それ以上に年々司法試験や国家専門職を狙える実力を備えた学生の方が増加していることに大きな喜びを感じております。

②法律職や公務員に就ける実力を有する学生の方を一人でも多く育てようと思っています。

③本法律学科のトップは全国レベルでもトップです。その中に入るためには日々の勉強が大事です。法律学への努力は決して裏切られません。大いに頑張りましょう。

【小野瀬 拡 先生（経営学部）】 担当科目：現代マネジメントⅠ

①大変うれしく思います。この授業は毎週ご登壇されるゲストスピーカーの方々のご協力なしには成立しません。質問や感想など学生の授業への協力もないと充実した学びになりません。教授会での承認なしには開講できません。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

②さらに充実した授業のため、皆様におかれましては今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

③多くの方々に支えられている授業です。引き続きよろしく願いします。

【岡田 朋子 先生（医療健康科学部）】 担当科目：医用化学

①意外だった。

②毎年、反省点はあるので、少しずつ改善しながら引き続き取り組んでいきたい。

③講義は、教員と学生さんたちで一緒になって作り上げるものです。一緒に頑張りましょう。

【村田 大学 先生（GMS学部）】 担当科目：グローバル戦略論

①とても光栄です。私は非常勤ですので、教職員の方々や学生さんたちから色々教えて頂き、また支えて頂きながら授業を進めています。受賞科目は外部講師の方もお越し下さっています。受賞はこうした皆様のおかげと思っています。

②さらにいい授業が行えるように、これからも精進してまいります。

③授業はエンターテイメントではないので、大変なことも少なくないと思いますが、今後も一生懸命授業に臨んで頂ければ幸いです。

【相馬 美明 先生（総合教育研究部）】 担当科目：英語ⅠA b

①「プラスワン賞」にご選出たまわりましたことは慶賀の至り、望外の喜びを禁じ得ません。心より感謝申し上げます。なによりの励みとなります。現在、またあらたな使命について感じ入っております。

②つねに学生さんには「いっしょに山を登ってまいりましょう！」と言ってまいりましたが、これまで以上に、学生さんにとってプラスとなるような、また寄り添った授業が行えるよう精進してまいりたく存じます。教えることは、実は教えられること。たくさんの気づきがあります。これからも共に手を携え登ってまいる所存です。

③「出会いは宿世の縁。お互いに出会えてほんとうに良かったね・・・そう言える一年にしてまいりましょう」わたしが毎年4月の最初の授業でお話することです。これからもお互いに素敵な出会いにしてまいりましょう。

【今年度殿堂入りをされた先生のご紹介】

【川村 稔 先生（経済学部）】

【金澤 誠 先生（法学部）】

【殿堂入りの先生方のご紹介】

○令和4年度

・ 畠山 寛 先生（総合教育研究部）

○令和3年度

・ 中村 公一 先生（経営学部）

・ 富樫 景子 先生（法学部）

・ 小野 洋平 先生（文学部）

・ 加藤 之晴 先生（総合教育研究部）

※過去3回以上、学生が選ぶベスト・ティーチング賞を受賞された先生は、「殿堂入り」となります。



学生FDスタッフによる 授業コメントセレクション



今年度学生FDスタッフは、学生が「主体的に」取り組める授業が、駒澤大学の教育の質向上につながる良い教育だと考えました。数多く寄せられたコメントの中から、テーマに沿ったものを一部抜粋してご紹介します！

※学生FDスタッフは匿名処理されたコメントからセレクトしており、科目名以外の情報は知りません。

～専門教育科目～

仏教学部

【 宗教学研究 】 村上 晶 先生

◆作り込まれたわかりやすいスライドを使って授業が進んでいくので常に楽しく学ぶことができました。

また、毎回のリアペに対するフィードバックも理解を深めるのにとても役立っていると感じました。

【 演習Ⅱ 】 三代 舞 先生

◆先生の専門分野を語学学習と関連付けて細かい部分にまで言及されているところがとても勉強になっています。

【 演習Ⅱ 】 大澤 邦由 先生

◆授業以外の社会的な問題点などを議論する機会があったり、意欲があれば、学生ともより深く関わってくれるから広範に成長できる。

【 禅思想概説 】 石井 清純 先生

◆本科目においてもっともよいと感じる点は、授業の構成である。授業は講義形式で行われ、講義を5回ないし6回した後、その範囲についてのテストが為される。このテストによって、単に講義をするのみでは判断できない、自分自身が本当に理解しているのか否かを確認することができる。また、授業中にしばし脱線する内容があり、授業を飽きさせないだけでなく、このバランスが丁度よい印象がある。

(構成担当：小林)

文学部**【 基礎国文学Ⅱ 】 加藤 邦彦 先生**

◆90分をフルに使った最も満足感が高い授業。かといって、一方的に話しかけるだけではなく、軽い話し合いの時間や小話を挟んでくださることもあり、授業に緩急がついているため、集中が長続きしやすい。

【 英作文演習 】 馬場 聡 先生

◆挙手制ではなく、LINEオープンチャットへの投稿が発言として評価されるシステムのおかげで、リラックスして授業に参加できている。スライド内にさまざまな動画のリンクが挿入されているのも、知識を深めるのにつながっている。アメリカで暮らしていた先生の実体験を交えて話を進めてくださるので、毎回楽しく講義を聞ける。

【 人文地理学実習 (地図学実習含む) 】**小田 匡保 先生**

◆回を重ねる度に課題が難易度が上がっていったが、その都度わかりやすく説明していたために取り組みやすかった。

経済学部

【 新興国経済論b 】 山中 達也 先生

◆わかりやすいスライドと今の社会状況も絡めて説明して下さるのでありがたいです。
◆映像資料が効果的に使用されており、非常にわかりやすい。リアクションペーパーに記した意見がよく反映される。

【 消費経済論b 】 姉齒 暁 先生

◆経済学だけでなく社会学と連携して授業を進めるので授業中の解説が理解しやすいだけでなく、意欲があれば深いところまで学べる。

【 経営戦略論b 】 田淵 泰男 先生

◆必要なところを的確に説明してくれているんだらうなと感じる。

【 証券市場論b 】 深見 泰孝 先生

◆学生の気持ちに寄り添った講義をしてくれる。日常生活に結び付けた解説をしてくれるため、理解しやすい。

【 西洋史特講IB 】 佐原 彩子 先生

◆リアルタイムのニュースと関連付けながら授業を行ってくれるので現在報道されている事件や戦争に関して、理解しやすいし興味が出てくる。この授業のお陰で新聞・ネットニュース等をよく見るようになった。

【 社会保障 】 長尾 譲治 先生

◆学問的な社会保障について学ぶだけでなく、自らの将来について考えながら、知識を身につけることができる。先生がご説明される口調も優しく、丁寧に説明して下さるため、授業の雰囲気もとても良く、リアクションペーパーでも質問がしやすい。

【 心理学研究法Ⅱ 】 久保 尚也 先生

◆丁寧に説明して下さるので、とても理解しやすいです。レジュメの配布や大福帳での交流など、授業への積極的な理解に繋がる手助けがあるのも良いです。

(構成担当：田浦)

法学部

【 行政法 】 入井 凡乃 先生

◆説明が堅苦しくなく学生側に寄り添って噛み砕いた話し方をしてくれるのでわかりやすい。

【 環境法 】 三浦 大介 先生

◆スライドの授業をして、毎回小テストを行なってくれるので、知識の確認がしやすいのがいいとおもう。

【 国際社会入門 】 三竹 直哉 先生

◆準備も多く大変な授業ではあったが、終わってみれば自分が成長できたと感じられるとてもためになる授業だった。

【 現代政治理論入門 】 山崎 望 先生

◆一つの視点に絞らず、多角的な視点を共有してくださるので、こちら也非常に考えを深めやすい。良い意味でこれといった結論が出ないので、自分の頭を悩ませることが出来る。また、特定の人物や組織を贖したり、逆に攻撃的な発言をしたりすることもなく、中立的で教育者として素晴らしいと思ったから。

【 ロジスティクスa 】 合田 浩之 先生

◆業界のトップ企業で長く働かれた経験があることから、幅広い知識をお持ちでユーモアを交えてお話しして下さることがとても興味深く楽しく受講しています。土曜開講なので受講人数が少なくとてももったいないと思っています。就活前の学生(2、3年)や経済学部以外の学生にとってもためになるし楽しめるのではないのでしょうか。ときどき垣間見える鉄オタやミリオタぽさが愉快ですし、言及される内容や表現が義務教育とは違う自由さを感じます。

【 地域経済論b 】 長山 宗広 先生

◆身近に感じる地域経済についてわかりやすく解説していただき、様々なNPOの活動や現状、課題への取り組みを知ることができたから。

【 経営財務論 】 鳥居 陽介 先生

◆すでに学問と成立していることをただ説明するだけでなく、近年の動向を踏まえた話をしていただけているため、授業として受ける意義を大いに感じるから。

(構成担当：田浦)

経営学部

【 組織行動論 】 小川 悦史 先生

◆質と環境の高い授業です。経営学部以外の方にも受講してほしいくらい日々の生活の考え方に直結する学びがあります。

◆先生がハキハキとスピーディーに話をしてくださるため、授業が聞きやすいです。また、WebClassで配布されるレジュメに加えて適宜板書をしてくださるので、理解しやすいです。そしてほぼ毎回(主に)直近の授業内容に関する小テストが行われるため、1回1回集中して受けようと思えますし、実際集中できています。

【 市場戦略概説B 】 菅野 佐織 先生

◆ゲストスピーカーを招いての授業やグループディスカッションなど、授業で習ったことの実用例が知ることができて楽しい。

【 企業と社会 】 村山 元理 先生

◆ゲストによる講習があり、リアルな経験を聴くことができ非常にためになった。

【 刑法各論 】 原口 伸夫 先生

◆先生の著作である参考書がわかりやすいだけでなく、先生が挙げる例示や聞き手が関心を持ちやすい話題の選び方がとても助かります。また、授業の度に挙がる小テストによって授業内容の復習がしやすいため、参考資料含め、とても学習がしやすい環境が整われています。

【 日本政治入門 】 大山 礼子 先生

◆たびたびその回の授業に関して自分の言葉で説明をするレポートの提出が求められており、授業の復習として大いに役立った。加えて、毎回の授業の最後にはWebClassのタイムラインを用いて先生に質問ができる時間があり、授業に関する質問に加えて近日の政治におけるニュースに関することまで質問することが出来、とても役に立った。

(構成担当：宮地)

【 会計学B 】 田中 智徳 先生

◆対面だけの授業に限らず、さまざまな学びのスタイルを選んで、自分のやりやすい方法で会計学を学ぶことができる。授業後に必ず小テストがあって自分の現段階の理解度を確認することができる。また、その小テストは期限内まで何度もやり直しが効くため、繰り返し復習もできる。授業はシンプルな説明でとても分かりやすく、聞き疲れしない。

【 情報処理基礎B 】 森 博彦 先生

◆毎回の課題は簡単ではないが、使える知識を生徒にしっかり身につけてほしいという愛が伝わってくる。

【 情報処理基礎B 】 河内谷 幸子 先生

◆本当にいい先生！とても優しく、授業内容もとても理解しやすい！

(構成担当：大友)

医療健康科学部**【 放射線機器工学I 】 奥山 康男 先生**

◆人間性が大変面白く大変ためになる先生です！

(構成担当：木田)

GMS学部**【 演習I 】 各務 洋子 先生**

◆本講義での学びは就職活動においてだけでなく大学卒業後の人生において大いに役に立つ内容であると感じる。先生は、講義内は失敗する場所とおしゃっており、どんなに難しくてもまずは挑戦することができる環境であると実感する。先生からのフィードバックも充実しており、ワークを進めるにあたり非常に活用したいと思える内容ばかりである。講義外での学習時間が多く必要とされ、少々負担を感じる部分はあるもののそれ以上に得られるものが大きいと感じており、今後も精力的に参画したいと思える授業である。

◆実績がある先生の中で、勉強をさせていただいていることを嬉しく思います。授業内容は理論と実践の両方のプログラムが用意されていて、理解しやすいものとなっています。また、先生は、経営戦略論について講義してくださるだけでなく、社会人としてのマナーなど大切なことを教えてくださいます。そして、ただ私たちに答えを教えるのではなく、ヒントを与え、考えさせてくれるので、学びが深まっている実感があります。

【 グローバル戦略論 】 村田 大学 先生

◆実際に営業をされている方を呼んで、講義をしてくれるから。

～全学共通科目～

●教養教育科目（人文・社会・自然・ライフデザイン）

人文分野

【 子どもと文化発展（2） 】 内藤 寿子 先生

◆声量が大きく、はきはきと話していて聞きやすい。学生への信頼を感じる。

◆この講義を受けて、絵本関係の職業に就きたいと思いました。将来の目標がずっと決まらなかったのですが、絵本の国際性、表現の素晴らしさを知り興味が湧きました。絵本を日常的に読むようになりました。短いページ数と文章、挿絵で誰かに伝えようとする絵本に心奪われました。

【 世界の宗教（1） 】 宮田 義矢 先生

◆初学者向けに平易な言葉遣いを用いてくださり、わかりやすく例えてくださる先生です。といっても、ある程度の事前知識のある学生を退屈させることはなく、毎回夢中になって受講しておりました。素晴らしい講義をありがとうございました。

【 地域研究Ⅰ 】 倉田 徹 先生

◆話が本当に面白いです。授業なのに講演会に来ているみたいで毎授業ニコニコしながら勉強できています。

【 国際関係とメディア 】 芝崎 厚士 先生

◆直近のニュースについて講義を行ってくださる為、時事ニュースに強くなれる。

【 ポリティカル・サイエンス入門 】

高宮 秀典 先生

◆ポリティカルサイエンスというとつきにくい学術分野を入門というだけあって、的確かつわかりやすく解説されている印象を受けた。

教員の質も非常に高く、喋り方もはっきりとしているので聞きやすい。

授業スライドの枚数が多いがそれを簡潔かつ明確にしてくれているので、授業内で全て消化しているという点が素晴らしいと思う。

（構成担当：木田）

【 世界の宗教（２） 】 星野 靖二 先生

◆毎授業の課題として設定される小テストで授業内容の復習ができる。前期の授業を含め、主張が一貫している。

【 古典芸能入門（２） 】 松田 直行 先生

◆先生いつもありがとうございます！
文楽が好きになりました！

【 哲学（３） 】 佐藤 暁 先生

◆哲学というわかりにくい分野にも関わらず、とても正確にわかりやすく説明して下さいます。

（構成担当：飯島）

社会分野

【 文化人類学概論（２） 】 別所 裕介 先生

◆おもしろい
◆楽しく面白い授業を提供してくれる。眠くならないし笑顔で授業を受けることができる。
◆先生の独特の語りが非常に面白く、そそられる。講義内に休憩時間が設けられているので集中が持続する。映像や画像をふんだんに用いているのでイメージがしやすい。

【 日本の文化と社会（１） 】 森 雅文 先生

◆考えるための新たなフレームワークを授業を通して提供してくれた。

【 スポーツ科学で学ぶ教養（歴史と社会Ⅰ） 】

末次 美樹 先生

◆とにかく授業が楽しい、先生が優しいしみんなを気にかけてくれているのがわかる。二子玉川のキャンパスまで移動するのはしんどいが、先生の授業だからちゃんと受けられていると思う。

【 社会学の基礎（1） 】 氏川 雅典 先生

- ◆考えを否定しないで受け止めてくれるところが好きです。また氏川先生の授業を受けたいです。
- ◆良い意味であまり授業感がなく、興味深く知識を得られました。また、集中できるように2-3回休憩時間があるのが有り難かったです。
- ◆授業の合間に適度に休憩を挟んでくれるので、集中力が持続しやすい。

【 応用倫理学（2） 】 相松 慎也 先生

- ◆授業内容が簡潔かつ分かりやすくまとめられている。様々な目的で授業を受ける学生に対して柔軟に対応できる授業デザインをしている。頻繁に参考文献を紹介していて自学を促進している。

【 中国語で学ぶ教養（社会Ⅱ） 】 小川 隆 先生

- ◆発音する機会を多く設けてくれるため、中国語が身につくやすく、受講したことによって中国語能力が上がったと思う。
- ◆先生自身の留学体験や中国人との実際の関わりで得た経験などの、教科書に載っていないようなことを毎回の授業で話してくださるので、中国という国や文化への理解度や関心が深まる。

（構成担当：北上）

自然分野

【 地球と生命の歴史 】 市川 清士 先生

- ◆授業がとても分かりやすい！
- ◆海外旅行の話などの雑談が面白い。

【 進化と生態を考える 】 清水 善和 先生

- ◆授業の語り口調も雰囲気も優しい先生だったから。

【 心理学の基礎 】 石岡 綾香 先生

- ◆授業内容が分かりやすい！
- ◆授業内の動画等によって興味を持つことが出来るから。

【 心理学の基礎 】 堀 直人 先生

- ◆例え話や表現が分かりやすく面白い。
- ◆生徒の質問に後日答える授業スタイルがとても良かった。

【 心と体を考える 】 堀 直人 先生

- ◆授業が分かりやすい！
- ◆親しみやすい授業だから。

（構成担当：寺島）

ライフデザイン分野

【 日本語リテラシー（2） 】 内藤 寿子 先生

◆学生一人ひとりに寄り添い、理解してくれるので、とても安心して受講することができた。

【 キャリアデザイン（1） 】 落合 千裕 先生

◆グループワークがあることで他学部の生徒と関わる機会になることや、ほかの授業では学べない将来役立つ情報を多く学べるため。

【 世田谷6大学連携総合講座Ⅳ 】 高津 淑人 先生

◆学生の感想や質問に対して、次回の講義で答えてくださり解説まで付けてくれてすごくよかったです。

【 ビジネスリテラシー（4） 】 湯浅 陽子 先生

◆パワーポイントをつくるのがうまくなったから。

【 新入生セミナー 】 佐藤 雄一 先生

◆レジュメを各回配布して下さり、見やすいので内容を理解しやすいです。

【 新入生セミナー 】 出井 章雅 先生

◆先生の人柄が明るく元気で、大学生活に慣れない学生を和ませようとギャグを言って笑わせてくれたり真面目に話すときは真面目に説明していたり、自分が関わった先生の中で一番学生目線の意見や感じ方を大切にしてくれる先生だと感じました。

【 ライフデザインを考える 】 石元 悠生 先生

◆質問に対する「分からない」も自分の意見だ、と言って下さり、「何故分からなかったのか考えることが重要である」と最初の講義で言われたため、質問や意見等発言のしやすい環境だった。

(構成担当：飯島)

宗教教育科目

【 仏教と人間 】 村上 明也 先生

◆レジュメなども見やすく、生徒の集中力を途切れさせない工夫が施されていて楽しい授業だった。

(構成担当：田浦)

外国語科目

【 英語 I B b 】 金 美紀 先生

◆とても優しく、私たち学生の気持ちを汲み取ってくれて、私たちに寄り添った授業をしてくれるから。

【 スペイン語 I A b 】 ルイズティノコ、C. 先生

◆正解しないと恥ずかしいという環境ではなく、間違っても優しく丁寧に教えてくださるところ。

◆スペインの文化を学べる時間があり本来の言語を学ぶ目的である異文化を理解するというのを達成できている実感がある。

【 ロシア語 II B b 】 木村 英明 先生

◆少人数ながらも毎授業熱心に教えてくださる上に、文法や単語だけではなくその土地の文化等も挟みながらなので非常に楽しみながら授業を受けられている。

【 実用英会話(日常生活編) 】 ニコラ フリュウウG.A. 先生

◆授業の雰囲気がとても良く、他の学生同士も仲良くなれるようペアワークなどの時間をくれたり、発表や発言に対して沢山褒めてくれてモチベーションが上がる。

(構成担当：小林)

保健体育科目

【 生涯スポーツ実習Ⅲ・Ⅳ(後期・基礎) 】

末次 美樹 先生

◆自分で対戦相手やペアを選ぶ回で、他者の名前を自分で書かねばならないところ。他者の名前を覚えやすく、他者との交流ができるから。

◆運動が苦手な人であっても楽しめるように授業が構成されているため。

【 健康・スポーツ実習 】 柳 浩二郎 先生

◆人柄が素敵で話しやすく、優しい。

◆先生が優しく、面白いため授業が楽しい。

【 健康・スポーツ実習 】 江口 淳一 先生

◆自由な雰囲気ですべてを進めてくださるため、得意ではない体育でもやる気をもって楽しみながら受講できている。

(構成担当：田浦)

課程講座科目

【 教職入門 】 鴨井 雅芳 先生

◆ずっと笑顔で授業をしていて、とてもいい気分で授業を受けることができるから。
さらに、学生のことを信頼してくれているのがとても伝わってくるので、「自分も先生のこと信頼していいんだな」という気持ちになれる。

【 道德教育の理論と方法 】 鴨井 雅芳 先生

◆先生の鑑であり神様だと思うから。自分自身も学ぶ姿を忘れていないことが偉大であると思ったから。

【 NPO・市民活動と社会教育 】 齋藤 真哉 先生

◆ゼミのような形式で、みんなで話し合いながら考えたり、学んだりすることができて面白いから。

【 学習・発達論 】 緒方 万里子 先生

◆とにかく分かりやすい。
レスポンスというアプリを用いた学生との対話が多くとても楽しい。

(構成担当：田浦)

過年度発行の「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」パンフレットはこちらからご覧いただけます!

<https://www.komazawa-u.ac.jp/about/fd/fd-action/BTA/>



☆お知らせ☆

学生FDスタッフ 募集

学生FDスタッフを募集いたします！

詳細は次のページへ▶

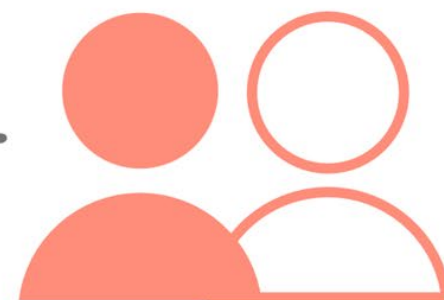
学生FDスタッフって何？

「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」を始め、
大学全体の教育の質を向上させることを
目的として、
学生の目線で企画・提案等を行っています！

企画の考案

授業アンケートやBTAの投票のチラシの作成
SNSの運営 etc...

サークルとは違い、
大学直轄の組織の為、
他学部の学生だけでなく
教職員と関わることも多いです！



少しでも学生FDスタッフに興味を持った方は…

▶ 駒澤大学HP 大学概要から
FD(Faculty Development) 
コンテンツ一覧をチェック！

▶ 学生FDスタッフ SNS アカウント
X → @komafdstaff
Instagram → komazawa_fd
是非フォローしてください！

▶ その他
サークルフェスティバル参加予定
(現スタッフと話せるチャンス☆)

他にもイベント検討中です！



学生FDスタッフ (第8期)紹介



木田維香 法学部法律学科3年

第8期生リーダー。
一昨年度からの継続メンバー。

●ひとこと
今年度も活動ができたのは先生方、職員の方
そして学生の皆様のおかげです。ありがとう
ございました。

○大学時代のエピソード

初めて某大手運送会社のお一人様用プランを使用して引っ越しをしました。手続きの面でも経済的な面でも引っ越し初心者向けで前回はその制度を使えばよかったなと思うほど満足度が高かったです。それでも荷造りと荷解きは何度やっても面倒に思うものですね…



田浦正規 文学部地理学科4年

昨年度からの継続メンバー。

●ひとこと
今年度から新たに階段広告を取り入れたりと、
昨年の経験を基にブラッシュアップすることが
できました。投票に協力して下さった学生
の皆さま、運営にあたってご支援いただいた
先生方・教職員の方々に感謝申し上げます。

○大学時代のエピソード

ラグビーの沼にハマったことです。ワールドカップでは全試合をテレビでの生中継で観戦しました！
更に玉川キャンパスの隣にある敷地はリコーブラックラムズ東京という社会人チームの練習場で、私の推しチームでもあります！



小林莉憂 法学部法律学科3年

昨年度からの継続メンバー。

●ひとこと
今年度は私が先導する場面もあり至らない点もあったかと思いますが、先生や職員の方、学生FDスタッフの皆様を支えられて活動することが出来ました。ありがとうございました。

○大学時代のエピソード

今年度は趣味である舞台をたくさん観ることができて充実した1年でした。ある舞台を観劇したとき、カーテンコールでとてもテンションの高いお客さんがいるなと思って振り返るとこの回に出演していない俳優さんでした。普通に関係者席に座っていて驚きました。



宮地柊奈 法学部法律学科3年

今年度からの新規メンバー。

●ひとこと
新規メンバーとして至らない場面を他のFDスタッフや職員の方達に多く助けられながら駆け抜けた1年間でした。新しいことにたくさん挑戦させていただき楽しかったです。ありがとうございました。

○大学時代のエピソード

漫画研究クラブでのサークル活動の中で、人生で初めて漫画を描きました。周りの影響でこれまでやったことがないものに興味を広げていけることはありがたいのですが、楽しいと同時に常に締め切りに追われ続けていた大学生活になりました。



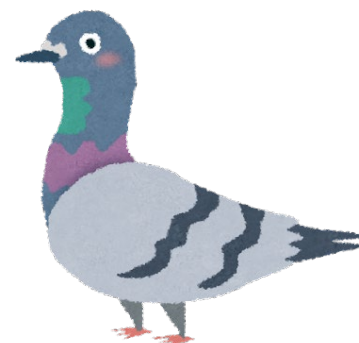
飯島菜摘 経済学部商学科1年

今年度からの新規メンバー。

●ひとこと
FDスタッフの活動ではたくさんの貴重な体験をさせていただきました。また優しいメンバーと先生、職員の方々にも助けられ楽しく活動することができました。ありがとうございました。

○大学時代のエピソード

授業がない空コマに毎回友達とお菓子を食べていたら、1ヶ月で体重が2キロ増えていました。このままでは危ないと感じてからは、一緒に食べるのを週2から月2に減らしました。



大友悠暉 経済学部商学科1年

今年度からの新規メンバー。

●ひとこと
この活動を通して、様々な先生方とお話をする機会があり、貴重な経験ができました。ありがとうございました。

○大学時代のエピソード

入学したての頃はどこにどの教室があるのかわからず、大学構内でよく迷子になっていました。個人的に第二研究棟が駒大一の迷宮です。



北上美優 法学部法律学科 1年

今年度からの新規メンバー。

●ひとこと

貴重なお話を先生方から聞くことができ、またいつも丁寧な対応をしてくださった職員の方々のおかげで楽しく活動できました。ありがとうございました。

○大学時代のエピソード

高校は毎日1限から出席していましたが、大学に入ってから1限が苦手になりました。たまに早起きして100円朝食を食べれると達成感を抱けていいなと思うのですが、なかなか上手いかないです。



寺島ゆな 経営学部経営学科 1年

今年度からの新規メンバー。

●ひとこと

このFDスタッフの活動を通して先生方がたくさん考え、工夫して授業をしていることに気付かされました。

○大学時代のエピソード

オリエンテーションの日に反対方面の特急の電車に乗ってしまいました。なかなか次の駅に止まらず、ずっと電車の中で焦っていたのを覚えています。駒沢大学駅から全速力で走り、3分前に着き一番前の席しか空いておらず泣く泣くそこに座りました😓

～学生FDスタッフ活動を振り返って～

学生FDスタッフからのメッセージ

学生FDスタッフは、学生目線から大学教育をより良くするためにイベントの企画・運営等を担当教職員と協働で行っている団体です。

今年度は既存のものをさらによいものにする活動方針を取りました。活動形態では全メンバーが時間や場所の都合を気にせず参加できるように対面とオンラインを併用する形にしました。企画に関してはSNSを利用した学生FDスタッフの情報発信の強化、さらに昨年度作成した「学生目線による学内施設マップ」と「履修登録を助ける広報誌（シラバスの読み方）」のブラッシュアップに取り組みました。なお、今年度の活動内容の決定から実行まで全て学生FDスタッフが中心となって行いました。

BTA(学生が選ぶベスト・ティーチング賞)に関しても同様です。学生自ら昨年度のBTAの投票フォームや冊子のレイアウトを見返して改善点はないかを探し、どうすればよいかを考えて改良しました。結果に関しては、本冊子に記載されていますので、ご一読いただき、翌年度の履修の参考にさせていただけますと幸いです。

このように学生FDスタッフは学生が主体となって教職員の方々と協力しながら、挑戦したい事に取り組んでいます。FD活動にご興味がある学生をスタッフ一同心よりお待ちしております。

最後に、今回のBTAに協力いただいた学生の皆様、ご助力いただいた教職員の皆様、一年間ともに活動してきた学生FDスタッフのメンバー全員に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

(第8期生リーダー・木田 維香)

平成 28 年 4 月 1 日 制 定

駒澤大学 F D 憲章

駒澤大学は、学校法人駒澤大学憲章の理念に基づき、
本学の Faculty Development (F D) を推進するために、この駒
澤大学 F D 憲章を定める。

- 一、私たちは、常に新しい教育方法を模索し、教育活動の質の向
上に努めます。

- 一、私たちは、常に自らの教育方法をふりかえることで、教育活
動の改善に努めます。

- 一、私たちは、常に教員相互の情報交換をすることで、大学全体
の教育の質の向上に努めます。

- 一、私たちは、常に学生、または社会からの声を大切にし、教育活
動の改善に努めます。

- 一、私たちは、知を人類の資産として未来へ継承し発展させるよう、
学生とともに歩むことを誓います。

平成 28 年 4 月 1 日 施 行

～メモなどにお使いください～

